

23. 在宅医療の推進

区民が自宅で安心して療養できる体制を整備するため、平成22年度から区内関係団体で構成する会議体を運営し、医療及び介護スタッフの連携強化を図っている。また、在宅医療関係者の連携強化につながる事業及び区民への普及啓発事業を合わせて実施している。

[1] 在宅医療連携推進会議

地域医療連携ネットワークの構築及び課題の解決を目的として、会議を設置・開催した。また、個別の課題解決を目的とした部会を設置した。この会議は下記の職種の委員で構成され、年3回開催している。

構成：学識経験者、医師（診療所、病院）、歯科医師、薬剤師、
看護師（病院、訪問看護ステーション）、介護支援専門員、
理学療法士（病院、診療所）、高齢者総合相談センター職員、
区民、保健所長

[2] 事業実績

(1) 在宅医療に関する研修

① 在宅医療コーディネーター研修

在宅医療に関わるスタッフ（主として介護支援専門員）を対象に、在宅医療に関する知識習得と多職種連携を目的とした研修を実施している。

② 医療コミュニケーター研修

訪問介護に携わる方（ヘルパー）を対象に、医学的知識の基礎や医療職とのコミュニケーションについての研修を実施した。

□研修実績

区分 年度	研修名	実施日程	回数(回)	受講者数(人)
22年度	在宅医療コーディネーター研修	平成22年10月～ 平成23年3月	6	61
23年度	医療コミュニケーター研修	平成23年11月	4	28
24年度	在宅医療コーディネーター研修	平成24年11月～ 平成25年1月	4	36
	医療コミュニケーター研修	平成25年1月～3月	5	15

(注) 医療コミュニケーター研修について、うち1回は病院での現地研修を行ない、病院内の見学やロールプレイ等を行なった。

(2) 区民向け講座

区民に対し在宅医療についての知識を普及啓発するために、在宅医療に関する講座を開催している。

□講座実績

区分 年度	講座名	概要	参加者数 (人)
22年度	知って安心！やさしい医療健康講座「安心できるドクターのを見つけ方」	信頼できる「かかりつけ医」を見つけるためのヒントや医師とのコミュニケーションの取り方について看護師による講座	86
23年度	知って安心！やさしい医療健康講座「くすりと薬剤師の正しい使い方」	在宅医療を受ける患者及びその家族が不安に感じる薬の副作用、使用方法、注意点などについて薬剤師による講座。	110
24年度	知って安心！やさしい医療健康講座「くすりと薬剤師の正しい使い方 ぱーと2」	在宅医療を受ける患者及びその家族が不安に感じる薬の副作用、使用方法、注意点などについて薬剤師による講座。	80

(3) 在宅医療交流会

区内の在宅医療、介護関係者のネットワークづくりを推進することを目的とし、今後の介護保険制度の動向に関する講演のほか、在宅医療の事例検討を実施した。

参加職種：区内診療所及び病院医師、歯科医師、薬剤師、病院看護師、訪問看護師、歯科衛生士、介護支援専門員、理学療法士、高齢者総合相談センター職員、学識経験者、区民等

区分 年度	開催年月日	参加者数 (人)	場 所
22年度	平成23年2月5日	72	豊島区医師会館
23年度	平成24年3月3日	72	豊島区勤労福祉会館
24年度	平成25年3月9日	73	豊島区勤労福祉会館

(4) 在宅医療コーディネーターモデル事業

病院から退院して在宅医療を希望する区民が円滑に在宅生活を送るために、医療、介護等のニーズに対応した適切なサービスを提供することができるよう、在宅医療コーディネーターを設置する。又、医療関係者、介護サービス事業者等の連携体制の構築を支援するモデル事業を実施し、検証をする。モデル事業期間は平成24年1月～8月とし、その後本格実施として、在宅医療相談窓口を開設した。

事例実績（平成24年1月～8月）：6事例

(5) 在宅医療相談窓口

在宅医療を希望する区民、家族、医療機関、介護事業者などからの在宅医療に関する相談を受けるとともに、必要に応じて在宅医療に必要な医療・介護スタッフの確保・連携調整を行う、ワンストップ型のサービス窓口を設置することにより、区民が安心して在宅医療を受けられる体制を整備する。

□相談件数

(単位:件)

年度	電話	メール	文書	来所	訪問
24年度(※)	468	164	88	40	125

(※) 24年度は24年10月（開設）～25年3月の件数